

関市廃棄物減量等推進審議会

ごみ排出量の実績及び目標値の推移

1. 現計画の数値目標・モニター指標

現計画に示された、数値目標とモニター指標は、以下のとおりです。

表 3-1 数値目標および指標値

項目		目標 (R7)	目標 (R17)
数値目標 ※現計画で定める 数値目標	1人1日あたりごみ総排出量	916 g	850g
	1人1日あたり家庭系ごみ排出量	507 g	440g
	事業系ごみ排出量	10,119 トン	9,615 トン
モニター指標 ※数値目標は定めて いないが、進捗状 況を評価する指標	資源化率	総資源化量÷ごみ総排出量	
	最終処分量	最終処分量	
	市民1人あたりごみ処理費用	ごみ処理費用÷人口	
	市民1人あたりごみ袋使用枚数	販売枚数をごみ袋(大)に換算	
	資源集団回収団体数	集団回収事業奨励金交付団体数	

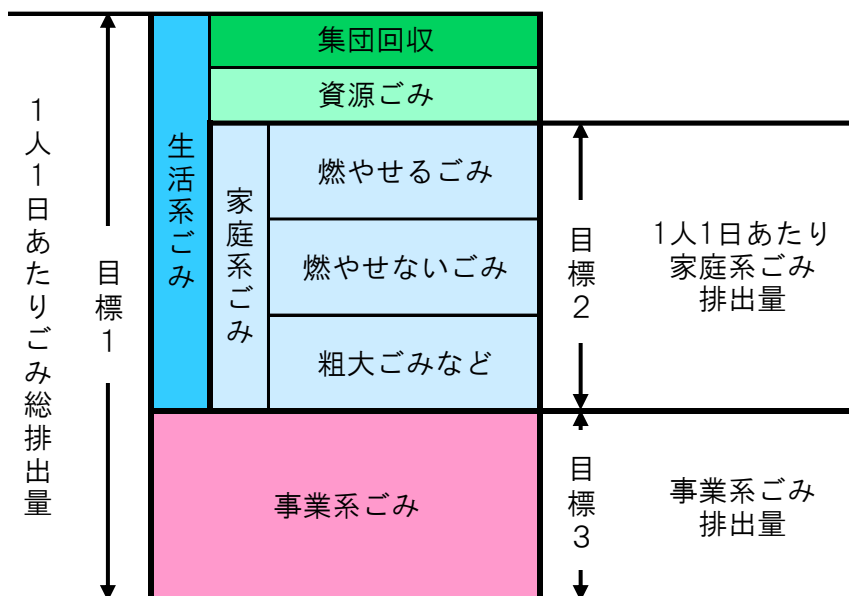


図 3-1 数値目標の考え方

2. 関市の人口

本市における人口は減少傾向にあり、令和6年の総人口は84,036人です。



図 3-2 関市の人口の推移

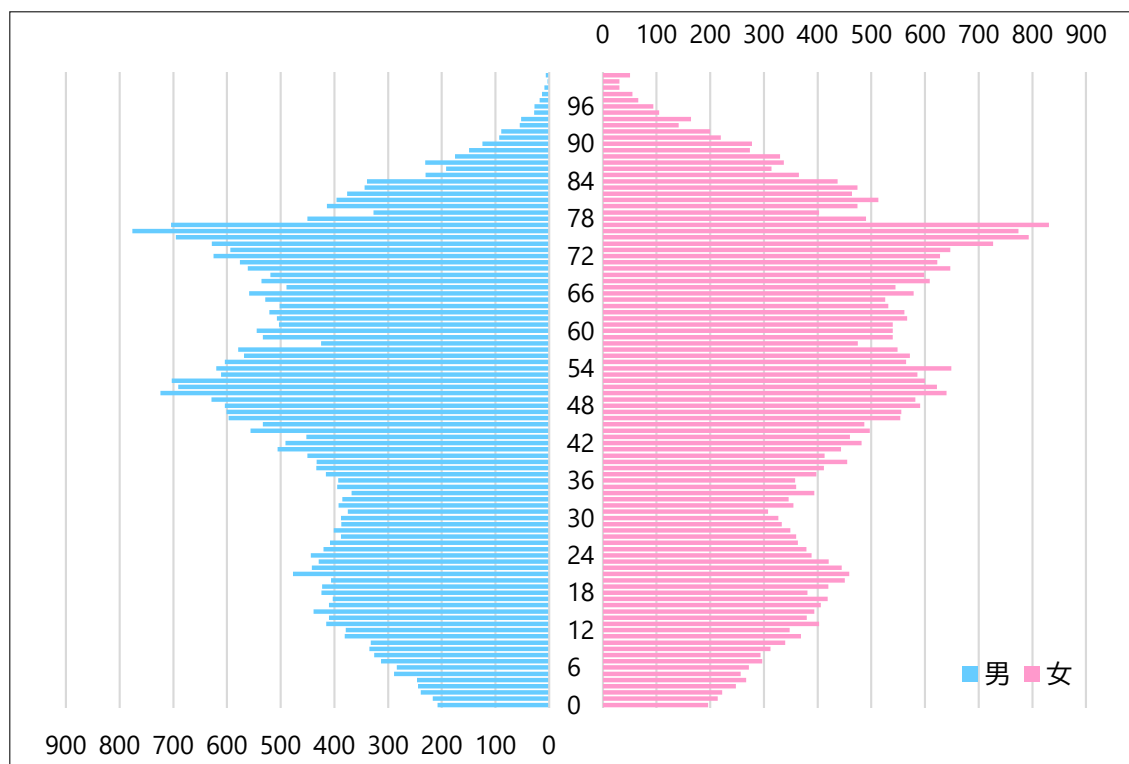


図 3-3 年齢別人口（令和7年4月1日）

3. 1人1日あたりごみ総排出量（数値目標）

ごみ総排出量は減少傾向にあり、1人1日あたりのごみ排出量（原単位）もそれに伴い減少しています。また、総排出量のうち、生活系ごみは減少傾向ですが、事業系ごみは令和3年度以降ほぼ横ばいの状況です。

現計画の令和7年度の1人1日あたりのごみ総排出量の目標値と比較すると、実績が目標を大きく下回り目標を達成しています。

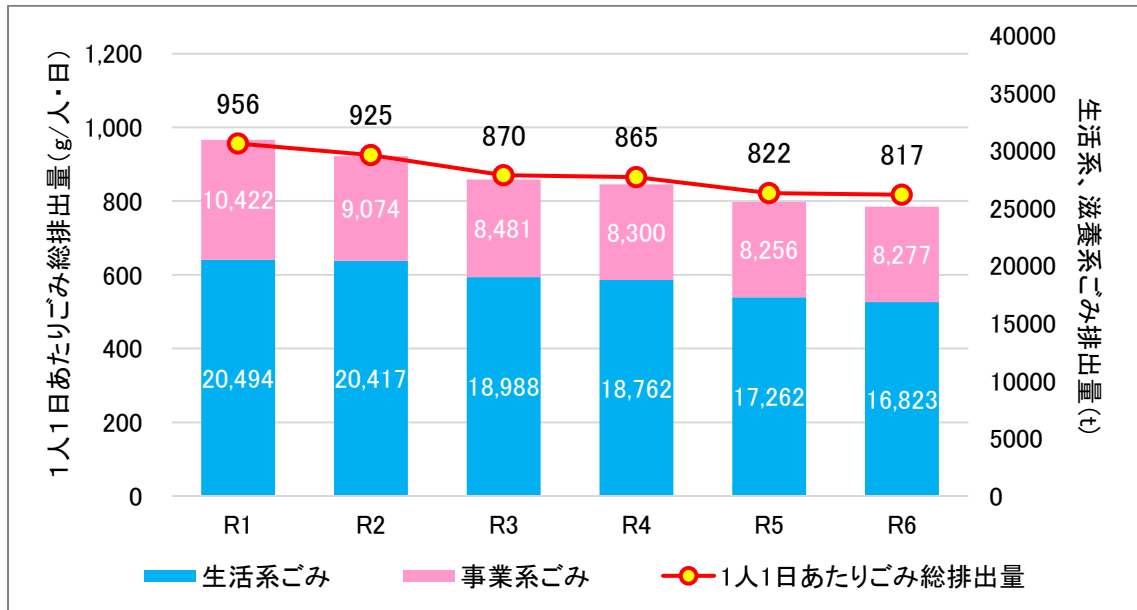


図 3-4 ごみ総排出量の推移

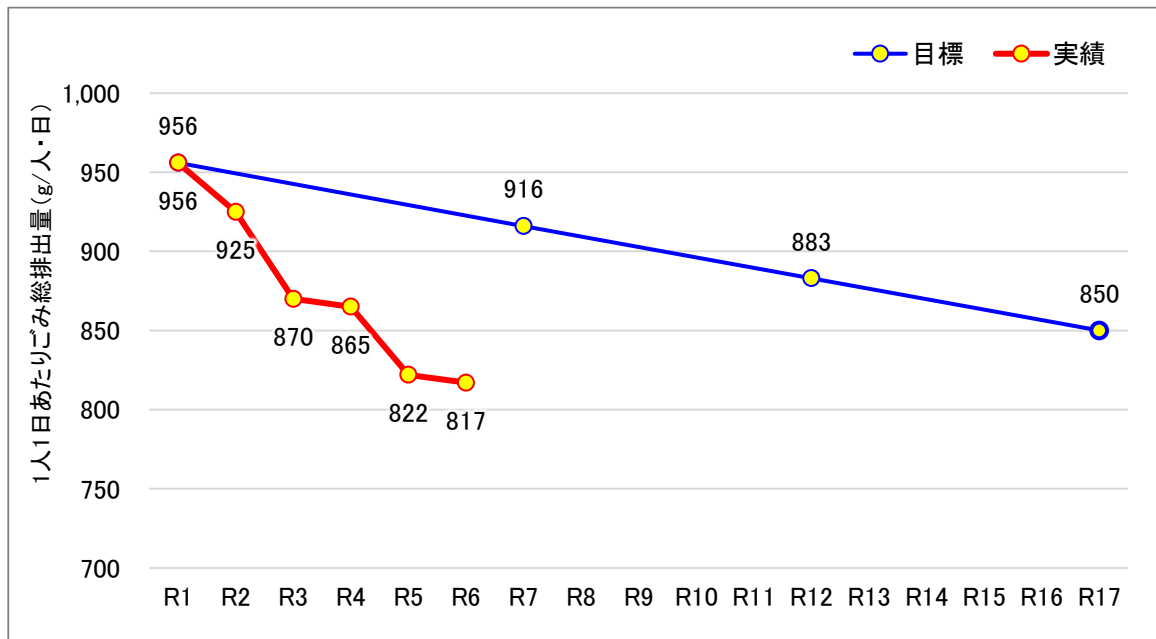


図 3-5 1人1日あたりごみ総排出量の目標と実績

4. 1人1日あたり家庭系ごみ排出量（目標値）

資源を含めた生活系ごみは、令和2年度にコロナの外出自粛期間のゴールデンウィークに自宅の片付けを行った家庭が多く、燃やせないごみ、粗大ごみの直接搬入量が増加し、一時的に増加したものの、その後減少傾向が続いています。

令和2年度に古紙類のステーション収集を廃止しましたが、集団回収量および燃やせるごみの量が増加していないことから、古紙類の排出先は主に民間回収へ移行したと考えられます。

1人1日あたり家庭系ごみ排出量を目標値と比較すると、令和5年度以降は目標値を達成しています。

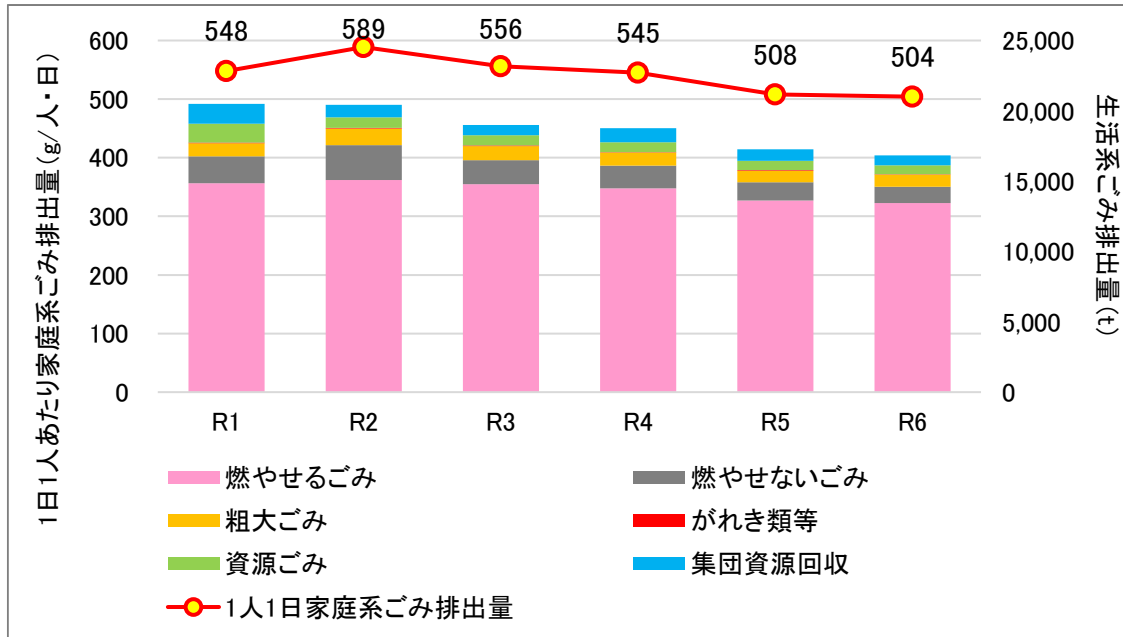


図 3-6 生活系ごみ排出量の推移

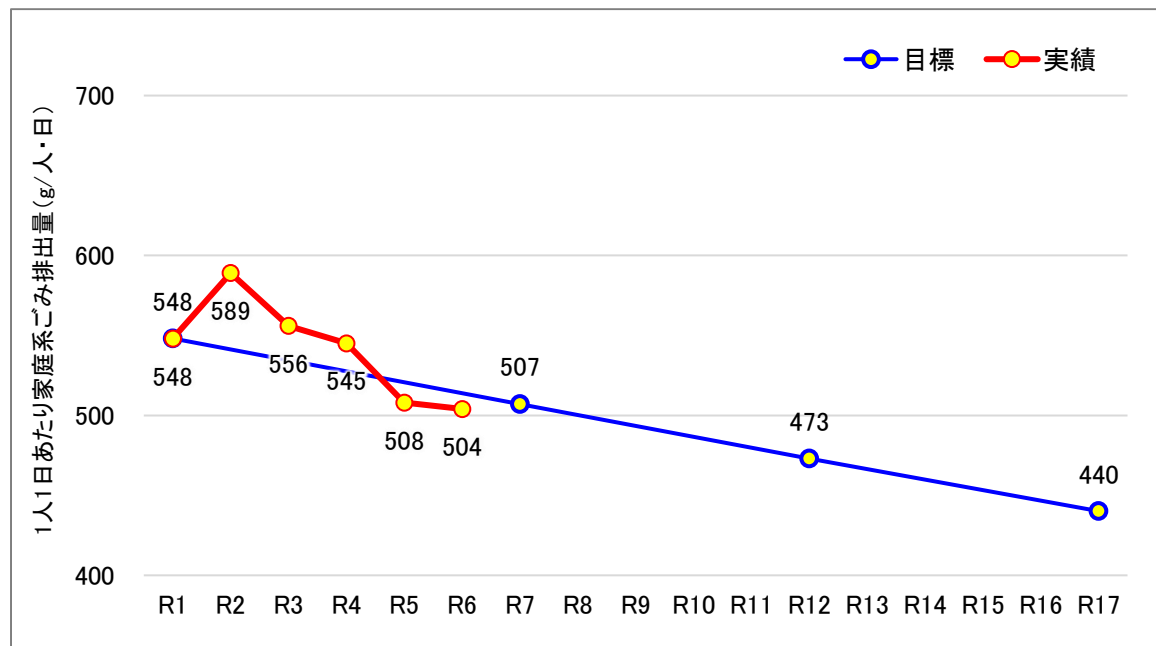


図 3-7 1人1日あたり家庭系ごみ排出量の目標と実績

5. 事業系ごみ排出量（数値目標）

事業系ごみ排出量は、令和 2 年度のコロナ禍以降概ね横ばいです。

令和 3 年から 5 年にかけて多量排出事業者に対し減量計画書の提出を求めるなど指導を行った効果により排出量が低く抑えられています。

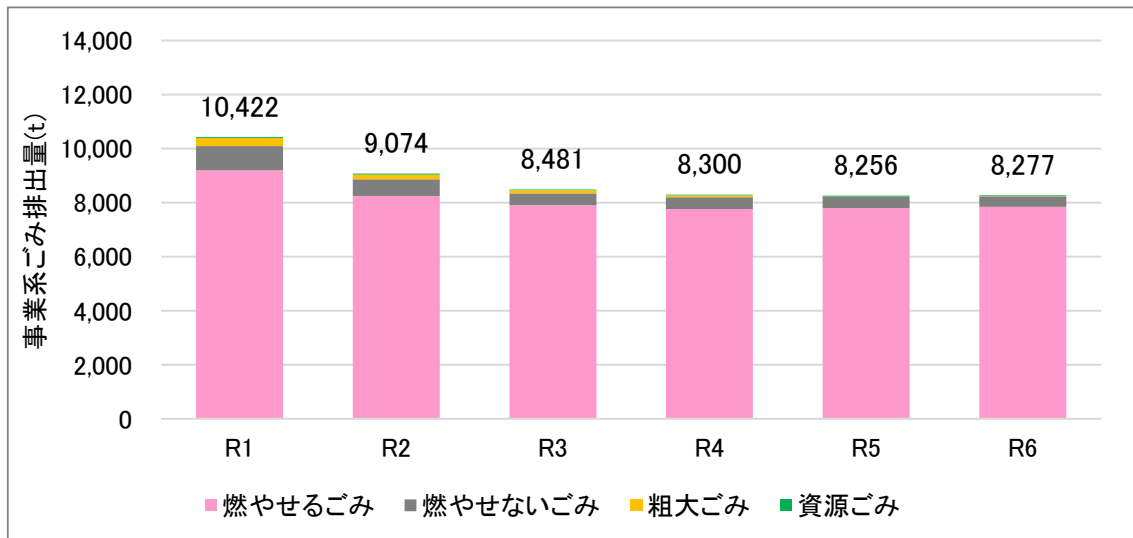


図 3-8 事業系ごみ排出量の推移

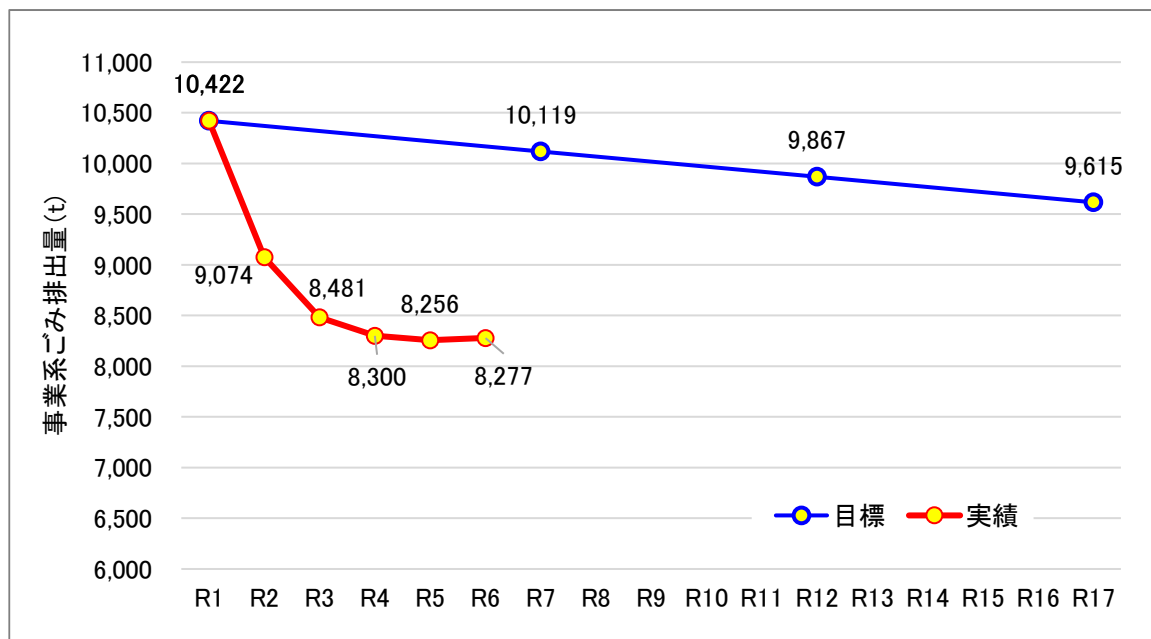


図 3-9 事業系ごみ排出量の目標と実績

6. 資源化率（モニター指標）

資源化率は、令和元年度の 17.5%と比較すると令和 6 年度は 12.7%と 5 ポイント近く減少しています。施設回収分、集団回収分のいずれも減少していますが、これは古紙類のステーション回収廃止に伴い、集団回収でなく民間業者の設置した 24 時間出すことのできる古紙回収ボックスへ出す人が増え、市の把握できる古紙の量が減少したことが原因です。

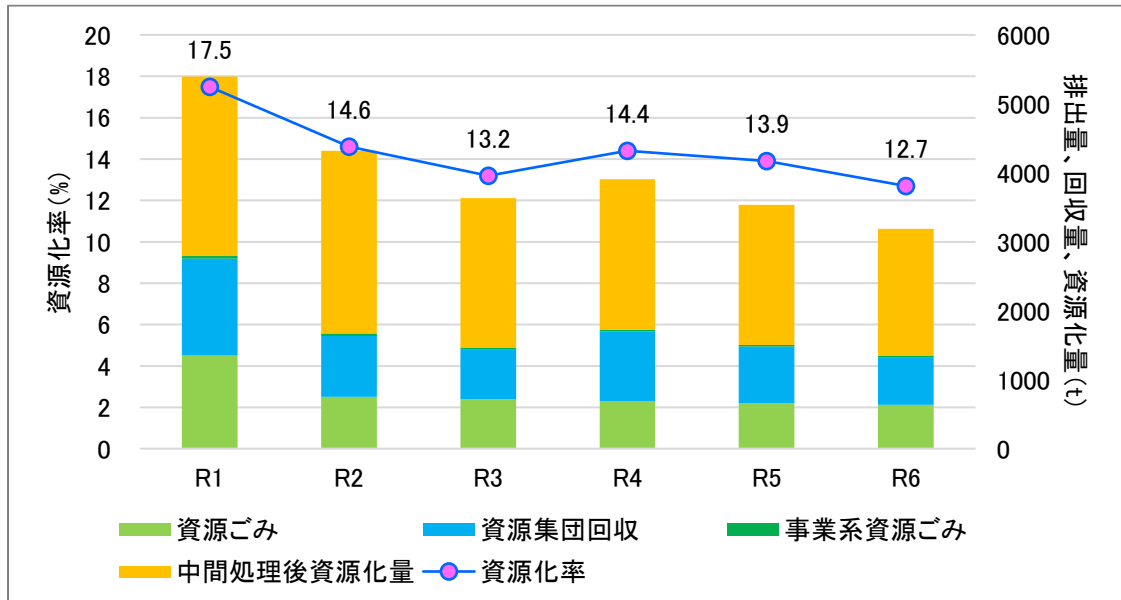


図 3-10 資源量及び資源化率の推移

7. 最終処分量（モニター指標）

最終処分量のほとんどは、クリーンプラザ中濃の中間処理後に処分される量であり、最終処分率は 3%程度を推移しています。

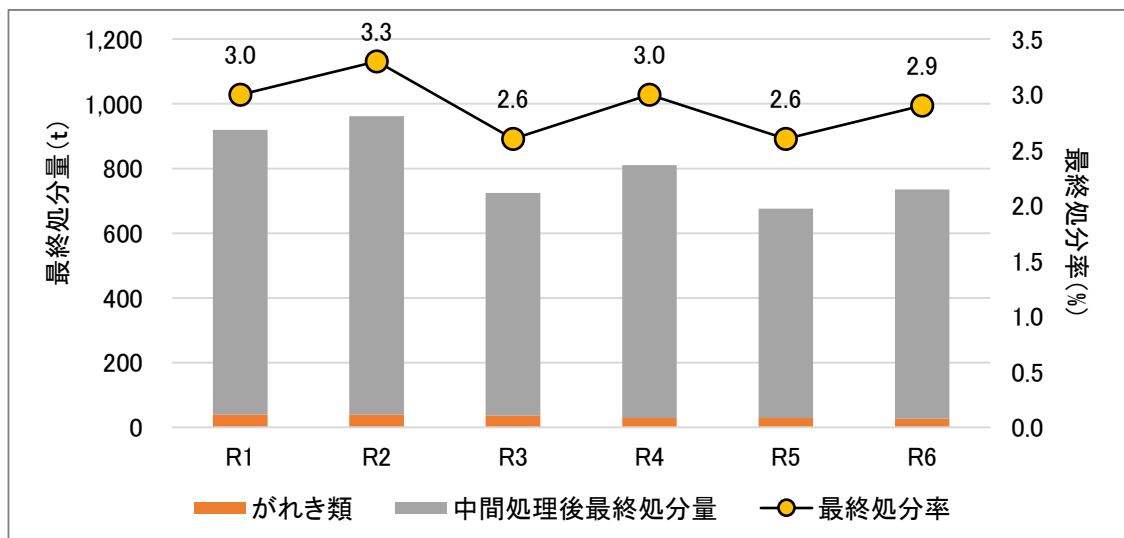


図 3-11 最終処分量の推移

8. 市民 1 人あたりごみ処理費用（モニター指標）

過去 5 年間のごみ処理にかかる費用と市民 1 人あたりごみ処理費用は、以下に示すとおりです。

処理経費は年々増加しており、人口が減少していることから 1 人あたりの処理経費はそれ以上の割合で増加しています。

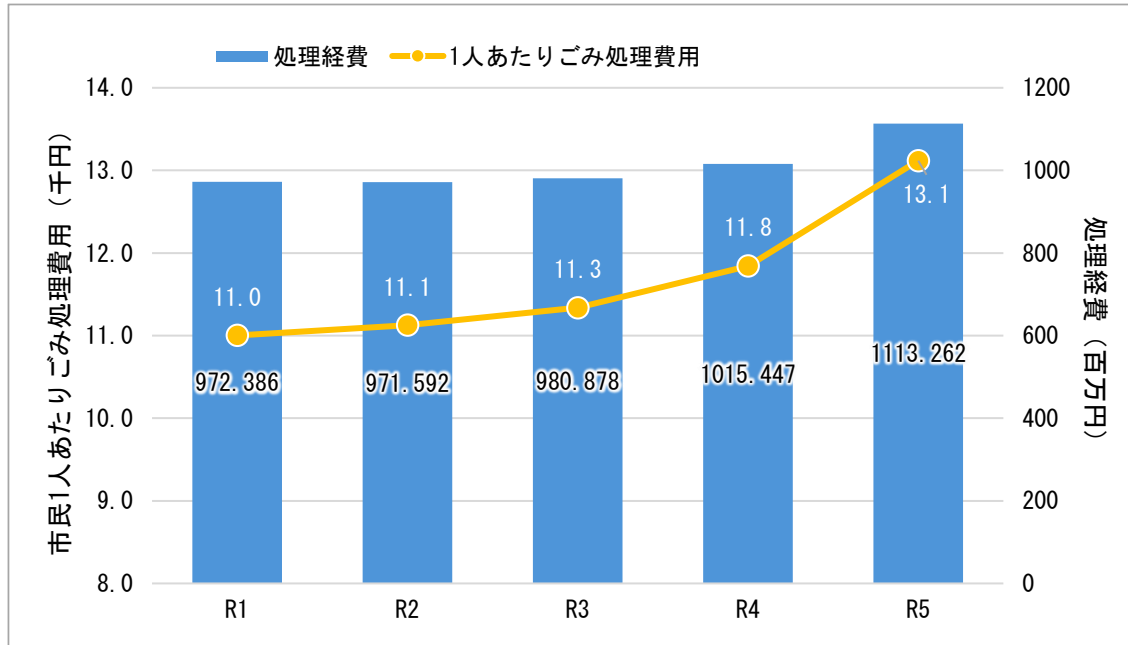


図 3-12 市民 1 人あたりごみ処理費用の推移

表 3-2 ごみ処理経費の内訳（千円）

項目	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
人件費	94,739	100,541	109,421	112,045	116,819
処理費	17,831	20,179	23,103	29,175	23,709
車両等購入費	10,868	10,868	8,152	0	8,195
委託費	154,027	157,346	158,780	171,234	171,944
組合分担金	667,460	667,480	667,890	691,029	781,799
その他	27,461	15,178	13,532	11,964	10,796

9. 市民1人あたりごみ袋使用枚数（モニター指標）

市民1人あたりごみ袋使用枚数の推移は以下に示すとおりであり、コロナ禍による外出自粛などで販売枚数が減少した令和2年度を除き概ね横ばいです。

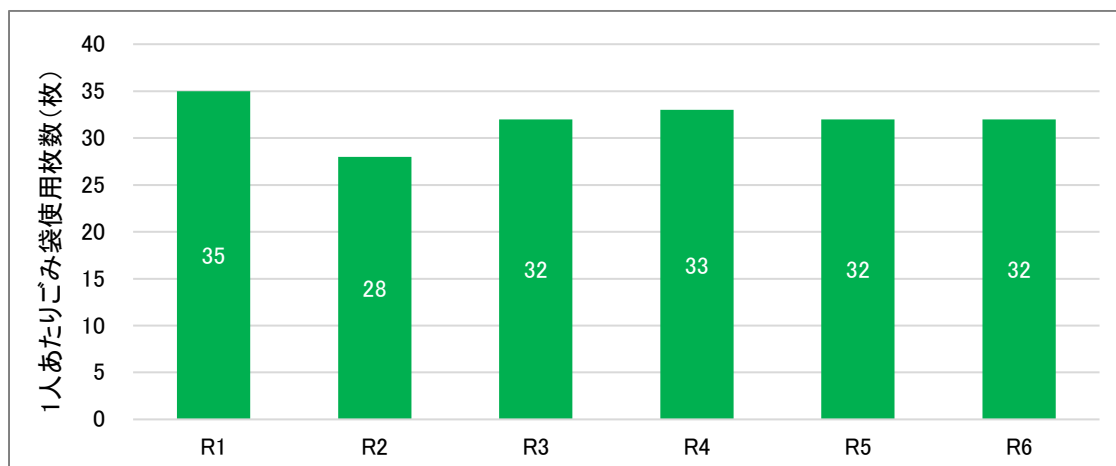


図 3-13 市民1人あたりごみ袋使用枚数の推移

10. 資源集団回収団体数（モニター指標）

資源集団回収団体数は、コロナ禍により令和3年に減少しましたが、令和5年度にはコロナ禍前の水準に回復しています。

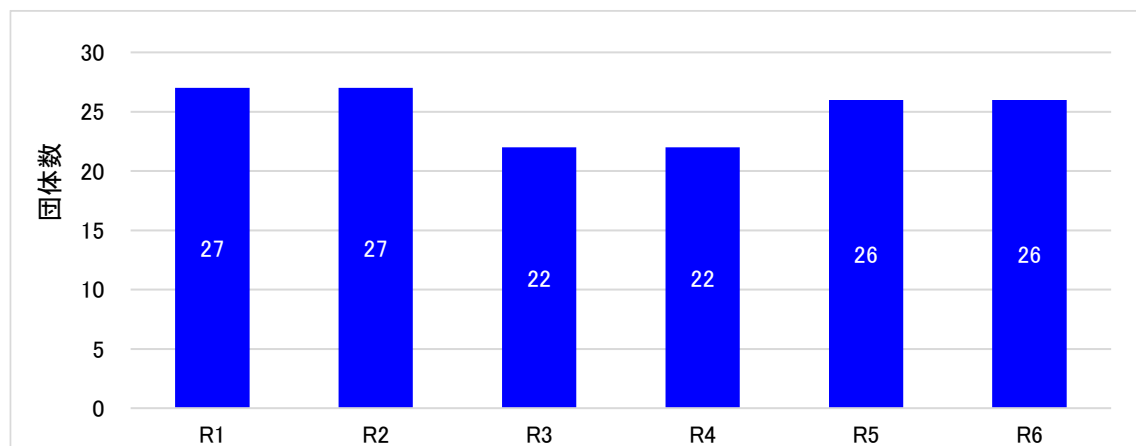


図 3-14 資源集団回収実施団体数の推移